

新たな

# こしがや

## 都市型観光

### 越谷市

#### 観光振興計画

平成28年度～平成32年度



# Koshigaya



人と水と緑を結ぶ スマイル創造・交流タウン “こしがや”



## ごあいさつ

本市における観光振興については、第4次越谷市総合振興計画において、「にぎわいと活力を創出する商業・観光の振興」を施策の一つとして掲げ、既存の観光資源や観光ルートを基盤としつつ、他業種やイベントとの連携による新たな観光資源の創出を推進してきました。

本市の将来人口は、徐々に減少に転じると予想されています。また、65歳以上の人口が占める割合が7パーセントを超える「高齢化社会」から21パーセントを超える「超高齢社会」になるまでの年数は、国が約36年を要しているのに対し、本市では、約18年で達しているなど、急速な高齢化も進んでいます。そして、やがてくる人口減少社会が及ぼす労働力不足などにより、経済構造は大きく変化し、地域経済の縮小が懸念されています。

このような状況の中で、本市は「地方創生」に取り組んでおりますが、観光振興は、交流人口を拡大させ、地域を活性化させる原動力となり、農業や商業、工業などの地域内の幅広い産業に経済効果をもたらすとともに、多くの雇用を生み出す成長分野として期待されています。

また、東京オリンピック・パラリンピックの開催決定を契機に多くの外国人観光客が日本を訪れており、昨年、日本を訪れた外国人観光客は、1,973万人となり過去最多、また、その旅行消費額は、3兆4,771億円となり過去最高を記録しています。この傾向は今後も続くと考えられ、本市においても、まちの活性化や魅力の発信の好機と捉えております。

このたび、平成28年度から平成32年度までの5年間を計画期間とする「越谷市観光振興計画」を策定しました。本計画の施策を着実に推進し、都内および他の観光地からのアクセスの良さやレイクタウンにおける年間5,000万人を超える交流人口などの特徴を活かした「新たな都市型観光」を確立し、将来像である「人と水と緑を結ぶ スマイル創造・交流タウン“こしがや”」の実現に向けて取り組んでまいります。

結びに、本計画の策定にあたりまして、国や県の観光動向や市内の観光資源調査を実施し、独自のノウハウで分析していただいた株式会社JTB関東をはじめ、貴重なご意見をいただいた市内外の事業者および市民の皆様にご心からお礼を申し上げますとともに、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。



平成28年4月

## ～チャレンジ! 観光まちづくり!～

越谷市は、東京から25km圏内に立地し、JR武蔵野線、東武スカイツリーラインおよび国道などの交通網の充実による都内および他の観光地からのアクセスの良さが特徴です。人口約33万人(2015年(平成27年)4月1日現在)の中核市(注釈①)として発展し、周辺の市町村から首都圏までを大きな観光マーケットとして視野に入れることも可能です。

また、越谷レイクタウン(注釈②)では、年間約5,000万人の来訪者があり、人が移動し、集まり、交流する環境が整っています。

さらに、越谷市と(株)JTB関東は、2015年(平成27年)6月2日に観光振興に関する包括連携協定を締結しました。今後、旅行会社の豊富な情報、ネットワークおよびノウハウを活かすことで、これまでとは異なった価値の創造や需要の創出が期待できます。

市内に全国的に有名な観光名所はありませんが、多彩な地域の魅力に光をあて、その地域の魅力を活かした観光を“こしがや”の新たな都市型観光とします。地域の関係者が一体となり、核となる地域資源を発見し磨きあげ、観光によるまちづくりに取り組むことで、新たな活力を創出し、経済波及効果に広がる成長分野として推進していきます。

### 「新たな“こしがや”都市型観光の推進」

“こしがや”に住む誇りと“こしがや”を訪れる喜びが実感できる観光によるまちづくりに、関係者が一体となり、チャレンジします。

- 都内および他の観光地とのアクセスの良さ(集客・送客の拠点)を活かします。
- 越谷レイクタウンにおける年間約5,000万人の交流人口(注釈③)を活かします。
- (株)JTB関東と連携し、旅行会社のノウハウを活かします。
- 5本の1級河川と豊かな水辺空間を活かします。
- 田園風景と高品質な農産物を活かします。
- 地域の魅力を磨きあげ観光資源として活かします。

注釈① 中核市

日本の大都市制度の「政令指定都市」「中核市」の一つ。人口20万人以上という条件があり、政令指定都市に準じる都道府県の事務権限の一部が移譲されている。埼玉県では本市と「川越市」が指定されている。

注釈② 越谷レイクタウン

平成20年4月に「まちびらき」した、市の南東部に位置する「水辺空間」と「都市生活空間」が融合したニュータウン。同地区内には、上野にある不忍池の約3倍の広大な調節池や年間約5,000万人が来訪している「イオンレイクタウン」などがあり、新たなにぎわいを創出している。

注釈③ 交流人口

地域外からその地域に何らかの目的で訪れる(交流する)人のこと。その地域に住んでいる「定住人口」に対する概念。





# 越谷市観光振興計画

## 1章 観光振興計画の趣旨

- 1-1 計画策定の背景と目的 ..... P.1
- 1-2 計画の位置づけ ..... P.3
- 1-3 計画期間 ..... P.4

## 2章 越谷市を取り巻く観光の外部環境について

- 2-1 日本国の観光政策の方向性について ..... P.5
- 2-2 日本国の観光動向について ..... P.8
- 2-3 埼玉県観光動向について ..... P.11
- 2-4 訪日外国人旅行者のマーケット動向について ..... P.15

## 3章 越谷市の観光の現状と課題について

- 3-1 越谷市の概要 ..... P.20
- 3-2 越谷市の観光の現状 ..... P.23
- 3-3 越谷市の観光の課題 ..... P.26

## 4章 観光振興の将来像と基本方針

- 4-1 越谷市観光の将来像 ..... P.31
- 4-2 越谷市観光の基本方針 ..... P.31

## 5章 観光振興の主要施策

- 5-1 観光資源のブラッシュアップ ..... P.35
- 5-2 イオンレイクタウンや地域産業を活かした取組の推進 ..... P.37
- 5-3 新たな魅力の創造と観光基盤の整備 ..... P.39
- 5-4 観光を核としたブランドプロモーションの推進 ..... P.41
- 5-5 訪日外国人旅行者の誘客と広域観光の推進 ..... P.42
- 5-6 シビックプライド(郷土愛)の醸成と観光人材の育成 ..... P.44

## 6章 推進体制と進行管理

- 6-1 推進体制 ..... P.45
- 6-2 推進スケジュール ..... P.47
- 6-3 計画進捗の評価と目標の管理について ..... P.48

巻末資料：その他調査資料 ..... P.50